

わが社のいち押し

ブルー・スターR&D（中央区横山台）は、世界唯一の「超音波バリ取り洗浄装置メーカー」です。金属部品などに付着した「バリ」を、超音波の力によって除去し、しかも洗浄までやってのけるオールインワンの装置です。従来は、どうしても人の手でないと取れなかった精密部品などのバリ取りを一度に大量に除去できます。そのため、生産工程の自動化につながるとして、国内外の大手製造業が軒並み導入しています。そんな当社が4月から始めたのが「日本でも初めて」（柴野佳英会長）とする超音波によるバリ取りの受託事業です。「装置は買えないが、バリ取りに手間と時間をかけられない…」とする企業を対象に、バリ取りを代行します。同事業は、事業再構築補助金にも採択されました。

■オンラインワン

2010年4月に設立された同社は、「小さな多国籍企業を目指します」（柴野会長）と言うほど、世界中の企業を相手にしています。中には、

誰もが知るスマートフォンメーカーの製造企業や世界的自動車メーカーなども顧客です。同社の「超音波バリ取り洗浄装置」は、世界中を見渡しても参入企業がなく、独占市場となっています。柴野会長は「市場規模は4000億円ある」と言います。

ものづくりの世界では、金属やプラスチック素材などを加工すると、「バリ」と呼ばれる不要な部分が発生します。バリが付いた状態で出荷してしまうと、故障の原因になります。そのため、加工後の部品のバリ

は手作業で除去しています。

とはいえ、部品の数量が多ければ人海戦術、それに時間を必要とします。柴野会長によると、海外も人件費が上がっているため、競争力を確保するには、もはや自動化が避けられなくなっているそうです。「バリ取り作業に数百人を配置する海外の量産工場もあります。しかし、密集によるクラスタが発生したら、工場停止にもなりかねません。そこで必要なのが自動化できる超音波バリ取り洗浄装置なのです」。

この装置は、バリ取りしたい金属や樹脂部品などを装置内の水槽に投入し、そこに強力な超音波を当てます。水に超音波を当てると「キャビティ」と呼ばれる真空の玉が発生。これを使うことで、対象物の表面を傷付けることなく、バリや汚れが除去できます。この技術は注目さ

れ、現在までに「工業技術開発大賞」や「かながわ産業Navi大賞」

「文部科学大臣表彰」など、数々の賞に輝いています。

■HPは14カ国語

売り方にも知恵を絞っています。同社の場合、海外展開に力を入れており、世界20カ国以上に納入しています。ホームページは日本語や英語、中国語のみならず、スペイン語や、ポルトガル語、フランス語など、計14カ国語で公開。海外からの問い合わせが連日のように寄せられています。

海外企業からバリ取り

り作業を自動化したい部品のサンプルを相模原の本社まで送ってもいい、本社内にあるバリ取り洗浄装置で検証。できる場合は、マイクロスコープによる証明写真などを添付してバリ取り後のサンプルを返送し、購入につなげています。

超音波でバリ取り 請負事業を開始

柴野 佳英さん

（株）ブルー・スターR&D
会長

海外企業であっても、操作や保守方法を解説した動画も一緒に送ることで、現地に向わなくても納入可能としています。

■あらゆる材料に対応

そんな当社が4月から始めたのが、超音波バリ取り洗浄装置を活用した「バリ取り請負サービス」です。

日本のものづくり産業は、部品不足や値上げのラッシュに見舞われ、装置を導入したくても、先行きを不透明感が強く、設備投資に踏み切れない企業が出ています。

同サービスは、同社の超音波バリ取り洗浄装置を使用し、部品のバリ取り作業を代行します。1個から数万個単位で受託し、しかも早く終わります。同事業だけで年間売上高1億2000万円を見込んでいるそうです。